

外国人介護福祉士 候補者を受け入れて

社会福祉法人清峰会
特別養護老人ホーム浅草ほうらい
施設長 高野晋太郎
係長 草薙嘉臣

社会福祉法人 清峰会のご紹介

昭和59年 9 月 法人認可（福島県西白河郡西郷村大字小田倉字大清水389-5）

昭和60年 4 月 知的障害者施設さざなみ学園（定員80人）

平成 4 年 4 月 障害者グループホーム茗荷寮（定員 4人）

平成11年11月 特別養護老人ホーム小峰苑（定員100人：福島県白河市）

” テイサービスセンター小峰苑（定員 40人）

” 在宅介護支援センター小峰苑

” ケアハウスなつなし（定員 30人）

平成12年 4 月 居宅介護事業所小峰苑

平成22年 6 月 特別養護老人ホーム浅草ほうらい（定員160人：東京都台東区）

” 知的障害者施設浅草ほうらい（定員40人）

” テイサービスセンター浅草ほうらい（定員40人）

” ほうらい地域包括支援センター

” ほうらい子育てサポートセンター（定員10人）

平成23年 3 月 障害者グループホーム柳北ほうらい（定員4人）

平成25年 6 月 障害者グループホーム今戸ほうらい（定員6人）

平成26年 8 月 就労継続支援B型オアシス（定員20人）





清峰会の理念と方針

☆運営理念

人間性（人格と人権）の尊重と地域の
中でその人らしく健康に生きる

☆運営方針

人々が幸せに生きるためには、
皆がお互いに助け合わなければならない

⇒「共生と共育」

サービス提供の基本方針

～利用したい福祉サービスの実現を目指して～

- 1. ご利用いただいている大切なお客様が、利用して良かったと満足されるサービスの提供**
- 2. 自分自身や家族、友人が利用したいと思うサービスの提供**

介護福祉士候補者を受け入れた理由

①国際交流と貢献

②将来を見据えた人材育成と／ウハウウ確立

③職場の活性化

④マンパワー不足の懸念

現在の受け入れ状況

平成30年3月1日現在

①福島 白河市

小峰苑

候補者 4名 (2014年、2017年)

②東京 台東区

浅草ほうらい

合格者 2名 (2010年) 福島から東京へ異動

他事業所から 1名 (4月入職予定)

候補者 15名 (2014~2016年)

(1名3月末帰国)

現在の受け入れ状況

	小峰苑（フィリピン人）				浅草ほうらい（フィリピン人・ベトナム人）			
入国年度	介護福祉士 候補者	合格	帰国	備考	介護福祉士 候補者	合格	帰国	備考
2009年	2名	1名	2名	1名結婚退職 1名不合格				
2010年	2名	2名	1名	1名再入国				
2014年	2名				4名			
2015年					4名			
2016年					8名		2名	フィリピン人4名 ベトナム人4名 フィリピン人1名帰国 ベトナム人1名帰国
2017年	2名							
合計	8名	3名	3名		16名		2名	

受入れにあたっての準備

- ①職員・利用者・家族等への周知
- ②住居の確保と日常者活用品の準備
- ③研修担当者・生活支援者等の役割分担
- ④宗教・生活習慣への配慮

生活支援体制

(生活・就労・メンタル)

- ・ **生活支援** **統括施設長、施設長、
ユニット職員**
- ・ **就労支援** **副施設長、事務員**
- ・ **メンタル支援** **統括施設長、産業医、
衛生管理責任者、看護師**

研修指導体制

	日本語	受験対策	業務
指導担当	・外部講師 ・介護係長	・外部講師 ・東京都補助金事業	・介護係長、主任、職員
就労 1年目	・週3回 2時間/回 ・業務日誌 ・勉強会レポート添削	・週3回 2時間/回 ・月2回 8時間/回	・介護技術勉強会 ・業務日誌 ・行事の参加
就労 2年目	・週3回 2時間/回 ・業務日誌 ・勉強会レポート添削	・週3回 2時間/回 ・月2回 8時間/回	・業務一人立ち ・ケアプラン理解
就労 3年目	・週3回 2時間/回 ・業務日誌 ・勉強会レポート添削	・週3回 2時間/回 ・月1回 8時間/回 ・受験対策テキスト配布 ・介護技術講習会受講 ・模擬試験受験	・委員会、会議出席 ・行事担当 ・居室担当補助

一週間のスケジュールの例

- ・ 1年目 (2016年 ベトナム)
(2016年 フィリピン)
- ・ 2年目 (2015年 フィリピン)
- ・ 3年目 (2014年 フィリピン)

<就労1年目（2）月頃>

	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月	日																			
火	早																			
水	日																			
木	公休																			
金	日①																			
土	遅																			
日	公休																			

勉強(自宅)
勉強(施設)
仕事(実務)
自由時間

○1週間の平均学習時間 = 施設(6)時間・自宅(10)時間

○具体的な学習内容

日本語	・介護日誌記入 ・ワークブック(N1、N2勉強) ・外部講師による勉強(読み合わせ、文法、漢字、)
看護・介護の専門知識・技術	・介護係長、主任にて技術指導
受験対策	・国際事業団テキスト(外部講師授業) ・東京都の補助金事業の勉強会参加(月2回首都大学大学にて専門日本語)

<就労1年目（2）月頃>

	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月	日																			
火	早																			
水	日																			
木	公休																			
金	日																			
土	遅																			
日	公休																			

勉強(自宅)
勉強(施設)
仕事(実務)
自由時間

○1週間の平均学習時間 = 施設(6)時間・自宅(3)時間

○具体的な学習内容

日本語	・介護日誌記入 ・ワークブック(N3勉強) ・外部講師による勉強(読み合わせ、文法、漢字、)
看護・介護の 専門知識・ 技術	・介護係長、主任にて介護技術指導
受験対策	国際事業団のテキスト、テスト対策(外部講師授業)

<就労 2年目 (2)月頃>

	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月	日																			
火	公休																			
水	日																			
木	遅																			
金	公休																			
土	早																			
日	日①																			

勉強(自宅)
勉強(施設)
仕事(実務)
自由時間

○1週間の平均学習時間 = 施設(6)時間・自宅(6)時間

○具体的な学習内容

日本語	・介護日誌記入 ・ワークブック(N2、N3勉強) ・外部講師による勉強(読み合わせ、文法、漢字)
看護・介護の専門知識・技術	・介護係長、主任にて介護技術指導 ・ケアプランの理解
受験対策	・国際事業団テキスト(外部講師授業) ・東京都の補助金事業の勉強会参加(月2回首都大学大学にて専門日本語)

<就労3年目（ 2 ）月頃>

	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
月	公休																			
火	早																			
水	日																			
木	公休																			
金	早																			
土	日																			
日	遅																			

	勉強(自宅)
	勉強(施設)
	仕事(実務)
	自由時間

○1週間の平均学習時間 = 施設(6)時間・自宅(18)時間

○具体的な学習内容

日本語	・介護日誌記入 ・ワークブック(N2勉強) ・外部講師による勉強(読み合わせ、文法、漢字)
看護・介護の専門知識・技術	・委員会や会議に参加 ・介護係長、主任にて介護技術指導
受験対策	・外部講師による指導(苦手分野復習、過去問) ・東京都の補助金事業の勉強会参加(月1回国際福祉医療大学にて国家試験対策)

候補者を受入れて良かったこと

- ①職員・利用者へのよい刺激となった**
- ②職員の協調性が向上した**
- ③人材育成（研修体制）の見直し**
- ④マンパワー不足解消の一助となる**
- ⑤異なる文化や習慣の発見と国際貢献**

受入にあたっての今後の課題

①日本語学習のあり方

②資格取得後の定着に向けた取り組み

③日常生活の管理

④モチベーション維持への取り組み

国際厚生事業団や国の支援

①国際厚生事業団

- ・通信添削指導、集団研修、再チャレンジ支援等
- ・相談窓口、巡回訪問、学習教材等の配布 … e + c

②国（東京都）

- ・受入施設研修費補助金（平成29年度）
国235,000円+80,000円（研修担当者手当）
都765,000円
合計1人当たり1,000,000円

③各種補助事業の確認

- ・活用できる補助事業の確認

法人が目指すところ

